



「流動する基底部の流民」  
 流動する基底部の流民、これは、戦後日本社会の深刻な問題を鋭く指摘した著書である。著者は、戦後の社会変動の中で、従来の階級社会が崩壊し、流動的な社会構造が形成されていることを指摘し、その結果として生じた社会不安と貧困問題を「流動する基底部の流民」として表現している。著者は、この問題を解決するために、国家と社会の責任を明確にし、社会政策の抜本的な改革を求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、戦後日本の社会史を研究する上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。

### マスコミのテロル

マスコミのテロル、これは、戦後日本の社会変動の中で、マスコミが果たしている役割とその影響を論じた著書である。著者は、マスコミが単なる情報伝達機関を超えて、社会の意識を形成し、世論を導く力を持っていることを指摘し、その一方で、マスコミが権力と癒着を深め、社会正義を損なっていることを批判している。著者は、マスコミの健全な発展を促すために、メディア規制の強化と透明性の確保を求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、マスコミと社会の関係を考える上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。

### 流動する基底部の流民

流動する基底部の流民、これは、戦後日本社会の深刻な問題を鋭く指摘した著書である。著者は、戦後の社会変動の中で、従来の階級社会が崩壊し、流動的な社会構造が形成されていることを指摘し、その結果として生じた社会不安と貧困問題を「流動する基底部の流民」として表現している。著者は、この問題を解決するために、国家と社会の責任を明確にし、社会政策の抜本的な改革を求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、戦後日本の社会史を研究する上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。

# N·D·U

本誌「N·D·U」は、戦後日本の社会変動の中で、従来の階級社会が崩壊し、流動的な社会構造が形成されていることを指摘し、その結果として生じた社会不安と貧困問題を「流動する基底部の流民」として表現している。著者は、この問題を解決するために、国家と社会の責任を明確にし、社会政策の抜本的な改革を求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、戦後日本の社会史を研究する上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。

## 無名性への志向

### 漂流する現代非人の群へ



モトシロカカラン

### 文化運動の終焉 あるいは 〈風景〉への挑戦

文化運動の終焉、あるいは、〈風景〉への挑戦、これは、戦後日本の文化運動の現状とその将来を論じた著書である。著者は、戦後の文化運動が、従来の文藝中心の運動から、社会問題に関与する運動へと変遷していることを指摘し、その一方で、文化運動が社会正義の実現に果たすべき役割を論じている。著者は、文化運動が単なる表現の場を超えて、社会変革の力になることを求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、戦後日本の文化史を研究する上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。



同時代者NDU  
 自己否定との別れ  
 近世世界観への批判

自己否定との別れ、これは、戦後日本の社会変動の中で、従来の階級社会が崩壊し、流動的な社会構造が形成されていることを指摘し、その結果として生じた社会不安と貧困問題を「流動する基底部の流民」として表現している。著者は、この問題を解決するために、国家と社会の責任を明確にし、社会政策の抜本的な改革を求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、戦後日本の社会史を研究する上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。

近世世界観への批判、これは、戦後日本の社会変動の中で、従来の階級社会が崩壊し、流動的な社会構造が形成されていることを指摘し、その結果として生じた社会不安と貧困問題を「流動する基底部の流民」として表現している。著者は、この問題を解決するために、国家と社会の責任を明確にし、社会政策の抜本的な改革を求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、戦後日本の社会史を研究する上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。

### 公示

本学では、戦後日本の社会変動の中で、従来の階級社会が崩壊し、流動的な社会構造が形成されていることを指摘し、その結果として生じた社会不安と貧困問題を「流動する基底部の流民」として表現している。著者は、この問題を解決するために、国家と社会の責任を明確にし、社会政策の抜本的な改革を求め、社会正義の実現を訴えている。本書は、戦後日本の社会史を研究する上で重要な一冊であり、現代社会の課題を考える上で貴重な示唆を与えている。

### 第90回駿台祭

10月20日(水)	麻雀大会(守戦)	於 9号館テラス
10月22日(金)	マンドリンコンサート	於 記念館 18.00~20.00
10月30日(土)	前夜祭(本田路洋子他)	於 記念館 17.00~21.00

明治大学駿台祭実行委員会

## 若い芽を育てる東宝

いたずらに若い人の個性や情熱に手を加えることはしません。若い人には伸び伸びと育てたいからなのです。

試験日時 10月31日(日) a.m. 9:30  
 会場 サンケイホール5F  
 提出書類 履歴書、身上書、写真(名刺判2枚)、成績証明書、卒業見込証明書、戸籍謄本、健康診断書

選考内容 志願書、筆記(常識・語学・専門・作文)、適性、面接  
 応募資格 昭和47年3月卒業見込みの方(文科系のみ)  
 待遇 初任給 年俸70,000円、約勤52,000円  
 昇給年1回、賞与年2回  
 勤務地 東京本社  
 ※自由応募可

採用関係連絡先  
**東宝商事株式会社**  
 総務部 人事課  
 東京都新宿区北新宿1-7-21 TEL (363) 9138